

---

---

## 第6章 計画実現に向けて

---

---

## 1. 推進体制

### (1) 連携・協働によるみどりのまちづくりの推進

宜野湾市みどりの基本計画改訂にあたっては、市民団体代表、学識経験者等による改定検討委員会、市民アンケートなど多くの市民の方に参加していただきました。

今後も、宜野湾市みどりの基本計画を実現化していくためには、行政はもとより市民・事業者それぞれが、適切な役割分担のもとに協力しあう「連携・協働」によるまちづくりを進めることが重要です。

このため、各施策実施においては、計画段階から市民や各種団体等の参加を進めるとともに、維持・管理段階における市民等の積極的な参加を支援します。

図6-1 実現化に向けた推進体制のイメージ



### (2) 国、県、周辺市町村との連携・協力

国道・県道や河川、市域をまたがる樹林地など国や沖縄県、隣接市町村と必要な事項等について協議・調整をおこなうなど、適切な連携・協力をを行い、本市のみどりのまちづくり施策の推進を図ります。

## 2. 進行管理

本計画では、普天間飛行場跡地利用時を想定した長期的な将来像を展望しつつ、中期目標としては、概ね10年後の将来像を設定し、みどりに関する施策等を示しました。

計画の実行性を高めるため、計画（Plan）からはじまって、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）という継続的に向上する「PDCA サイクル」による適正な進行管理に取り組みます。

本計画は、長期的な視点に立った計画となることから、今後の国の法制度の改正や宜野湾市総合計画、宜野湾市都市計画マスタープランの改定をふまえ必要に応じ計画の見直しを行います。

図6-2 本計画におけるPDCAサイクルのイメージ

